



受け継がれる赤外線技術
磨かれたデザイン、進化する性能



IR Microphone System
ATIR-1000 Series



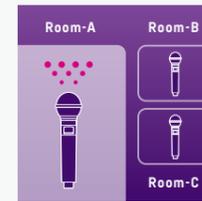
多くの大学で導入されている ワイヤレスマイクロホンシステム

1997年の初代モデル発売以来、当社はお客様の声に耳を傾けながら、赤外線技術の可能性を追求し、製品の開発を重ねてまいりました。赤外線は、電波環境の変化による影響を受けにくく、デジタル化が進む電波式ワイヤレスマイクとの共存も可能です。さらに、壁を透過しないという特性により、隣接する講義室間での干渉を防ぐことができるため、教育施設を中心に多数の導入実績があります。赤外線マイクロホン「ATIR-1000シリーズ」は、教育現場に安定したワイヤレス環境を提供します。

声伝わる、学びが深まる。

赤外線マイクロホンシステムが選ばれ続けるわけ

干渉しない



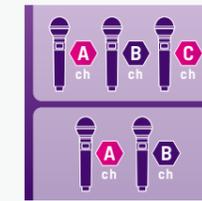
赤外線は壁などの障害物を透過しないため、隣接する部屋の機器と干渉の心配がありません。

混信しない



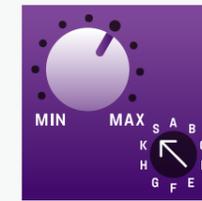
赤外線方式のため、他のワイヤレスマイクと混信することなく共存できます。

チャンネルプランが不要



任意のチャンネルを選ぶだけで、設定が完了します。複雑なチャンネルプランの設定は不要です。

簡単操作



チャンネル設定やボリューム調整は、製品本体で操作可能。パソコンを使った細かい設定は不要です。

1 世代

1997年～



20/30シリーズ

2 世代

2001年～



20/30MK2シリーズ

3 世代

2003年～



22/33シリーズ

4 世代

2010年～



80シリーズ

5 世代

2017年～



800シリーズ

6 世代

2023年～



1000シリーズ

アフターサポート期間終了

1 同時使用可能チャンネル数の拡大

ワイヤレスマイクの普及に伴い、混信対策に加えて同時使用チャンネル数の拡大が求められるようになりました。既存システムに対応しつつ、当初の4チャンネルから8チャンネル、最新モデルでは10チャンネルまで使用可能になりました。

2 連続使用時間の見直し

長時間の講義や講演で「途中で充電が切れてしまう」「充電し忘れて講義に支障が出た」といったお声をいただくことがありました。リチウムイオン電池を採用する事により、長時間運用に加え、15分の充電で約90分使用できる急速充電にも対応しました。

3 ノイズ対策

赤外線特有の、弱電界時に発生するノイズへの対策は、長年の課題でした。ノイズリダクション機能を搭載することで、ノイズの大幅な低減・除去を可能にし、使用可能範囲の大幅な拡大も実現しました。

4 教育空間の変化への対応

デザイン性の高い講義室の増加に伴い、受光ユニットの数量やカラーに関するご要望が多く寄せられるようになりました。そこで、2MHz/3MHz一体の受光ユニットに加え、これまで特性上の理由から実現が難しかったホワイトメタリックカラーの受光ユニットを製品化しました。

5 利用環境の変化への対応

ワイヤレス機器の増加に伴い、混信の心配がない赤外線方式の採用が進み、階段教室や天井の高い大講義室における利用ニーズが高まってきました。こうしたニーズに対応するため、従来の受光ユニットの性能を見直し、改良を加えた新たな広域受光ユニットを製品化しました。

マイクロホン (送信機)	同時使用可能チャンネル数	4ch	4ch	4ch	1 8ch	8ch	10ch
	連続使用時間 (LOモード)	7時間	7時間	7時間	7時間	7時間	2 14時間 リチウムイオンバッテリー
レシーバー	対ノイズ耐性強化	—	—	—	—	—	3 ノイズリダクション機能
受光ユニット	カラー	ブラック	ブラック	ブラック	ブラック	4 ホワイトメタリック	ホワイトメタリック
	ラインナップ	無指向性	無指向性	無指向性 単一指向性	無指向性 単一指向性	無指向性 単一指向性	5 広域受光ユニット (無指向性) 単一指向性
充電器	急速充電	—	—	—	—	—	●
その他トピック	<ul style="list-style-type: none"> パッケージ販売開始 ボディバック発売 (2MHz) 	単体での販売開始	<ul style="list-style-type: none"> コンデンサーユニット搭載 発光ユニットをリニューアル 2MHz/3MHz一体化 (受光ユニット) 単一指向性受光ユニット発売 パウンダリーマイク発売 ボディバック発売 (3MHz) 	<ul style="list-style-type: none"> 2MHz/3MHz一体化 (マイク/ボディバック) マイク発光部を上下2か所に配置 	<ul style="list-style-type: none"> ハンドマイクを小型化 パウンダリーマイク再発売 ケーブル長自動補正機能搭載 2MHz/3MHz一体化 (レシーバー) <small>*混合分配器ATIR-D640</small>	<ul style="list-style-type: none"> GMカラーに変更 (ハンドマイク) ボディバックを小型化 ハウリング対策を強化 発光ユニットをリニューアル 連結充電に対応 (充電器) 	



最新モデルATIR-1000シリーズの特長

ATIR-1000の特長から見る 教育現場で選ばれる赤外線マイクロホンの魅力

使用可能範囲が 大幅に拡大



広域受光ユニット「ATIR-A510」により、カバー範囲を大幅に拡大。さらに、レシーバーに搭載されたノイズリダクション機能との併用で、弱電界時に発生するノイズを低減し、広範囲での安定した運用を実現します。階段教室の黒板周辺や天井の高い大講義室などで、高い効果を発揮します。

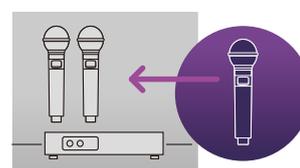
長時間運用と 急速充電に対応



長時間運用に対応したリチウムイオン電池を搭載。終日開催のセミナーや講演会などでも、充電を気にせず安心して使用できます。さらに、15分の充電で約90分*使用可能な急速充電にも対応しており、万が一の充電忘れにも心強い仕様です。

*使用条件により異なります。

従来モデルとの 互換性を確保



従来モデルとの互換性を備えており、既存の赤外線マイクロホンシステムが導入された環境でも、機器の追加や構成の見直しによる柔軟なシステム拡張が可能です。最大10chまでの運用に対応しているため、たとえば6chを使用中の部屋に、さらに4chを追加することもできます。

※機種により追加できるチャンネル数は異なります。

ショールームのご案内



東京



大阪

東京と大阪にショールームを設置しています。赤外線マイクロホンシステム「ATIR-1000シリーズ」をはじめ、最新の音響ソリューションを実際に体験しながらその性能や特長をご確認いただけます。遠方のお客様にはリモートでのデモンストレーションも行っております。